

第 167 回 記録管理学会例会のご案内

大会・例会担当理事 石井 幸雄

第 167 回例会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため引き続き Zoom にて開催します。

10 月 25 日の研究大会は、発表・質疑とも時間が限られており、懇親会もなかったのでコミュニケーションを補完する例会と位置付けています。今回は、香川県立文書館の嶋田典人さんに、研究大会と同じテーマでじっくりお話しいただき、参加される皆様との交流を通じて新たな知見を生み出す場になることを期待しています。

なお、研究発表については、学会誌『レコードマネジメント』79 号（2020 年 12 月 12 日発行）に掲載されていますのでご一読ください。

《報告概要》

香川県立文書館は、公文書管理条例施行後、県組織内部での一層の役割を担うようになった。組織として充実してきた。また、当館の職務として県組織外の基礎自治体出張所や小学校の公文書を調査した。

令和元年度丸亀市内の小学校 17 校を訪問し調査を行った。小学校を訪問する前に市教育委員会学校教育課と校長会を訪問した。学校歴史公文書の主に学校日誌を調査するためには、学校教育課長、校長会会長、各小学校長の行政文書（現用文書）としての管理権を有する組織体の長の許可が必要であったためである。これら、文書を管理する立場にある長に対して働きかけてきた経験から、基礎自治体組織にアーカイブズ（記録資料・公文書館）理解を深めるための方策を考えること、またこれは公文書館の無い基礎自治体組織への働きかけ・支援であって、これを県立公文書館の役割として考えることが目的であった。

これらの調査は歴史公文書としての価値を見出すとともに県立公文書館による基礎自治体支援に結びつく。今回は小学校調査と「学校日誌」の研究を取り上げて述べる。

会員の皆様はもとより、本テーマにご関心がある方は奮ってご参加下さい。なお、今回は、議論を深めるため少人数で実施しますので、お申込みは先着 15 名様とさせていただきますのでご了承ください。

記

- テ ー マ 基礎自治体支援と県立公文書館の役割：小学校調査と「学校日誌」研究を通じて
内 容 嶋田典人氏(会員)による報告及び参加者とのディスカッション
開催日時 2022 年 2 月 27 日(土) 15:00～17:00
開催方法 オンライン方式(Zoom 形式)
主 催 記録管理学会：<http://www.rmsj.jp/>
後 援 ARMA 東京支部：<http://www.arma-tokyo.org/>
参加費 会員・非会員とも無料
要 申 込 e-mail：office_jshii/atmarak/maia.eonet.ne.jp
問合せ先 お申し込み時に、ご芳名、ご所属をご記入ください。
※メールの際は、/atmarak/を@に変更して送信をお願いします。
申込締切 2021 年 2 月 20 日(土)22:00、ただし、先着 15 名様とさせていただきます。
ミーティング ID 及びパスワードは、2 月 21 日(日)、参加者全員にメールします。

以上